



2024年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年8月14日

上場会社名 アディッシュ株式会社 上場取引所 東
コード番号 7093 URL <https://www.adish.co.jp/>
代表者 （役職名）代表取締役 （氏名）江戸 浩樹
問合せ先責任者 （役職名）取締役執行役員財務企画本部長 （氏名）久保 芳和 TEL 03-6869-3777
半期報告書提出予定日 2024年8月14日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有（決算説明の動画配信を予定しております。）

（百万円未満切捨て）

1. 2024年12月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年1月1日～2024年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期中間期	1,785	1.5	△61	—	△46	—	△63	—
2023年12月期中間期	1,760	12.4	△76	—	△76	—	△67	—

（注）包括利益 2024年12月期中間期 △62百万円（－％） 2023年12月期中間期 △64百万円（－％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期中間期	△36.69	—
2023年12月期中間期	△37.66	—

（注）潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり中間純損失であるため記載しておりません。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期中間期	1,251	393	31.0
2023年12月期	1,176	439	37.1

（参考）自己資本 2024年12月期中間期 388百万円 2023年12月期 436百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年12月期	—	0.00	—	—	—
2024年12月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年12月期の連結業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,956	12.4	36	—	36	—	21	—	12.22

（注）1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 - ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
 - ② ①以外の会計方針の変更：無
 - ③ 会計上の見積りの変更：無
 - ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年12月期中間期	1,802,160株	2023年12月期	1,802,160株
② 期末自己株式数	2024年12月期中間期	67,601株	2023年12月期	83,729株
③ 期中平均株式数（中間期）	2024年12月期中間期	1,722,685株	2023年12月期中間期	1,781,061株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当中間決算に関する定性的情報（4）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) キャッシュ・フローに関する説明	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	5
中間連結損益計算書	
中間連結会計期間	5
中間連結包括利益計算書	
中間連結会計期間	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(中間連結損益計算書に関する注記)	8
(中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(重要な後発事象の注記)	8

1. 当中間決算に関する定性的情報

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社が属するインターネット業界の動向は、政府のDX推進や働き方改革推進により、ITインフラの整備やSaaSの活用など、企業のIT投資が堅調に推移しており、インターネット付随サービス業においても様々なニーズが生まれてきております。

一方、当中間連結会計期間における我が国経済は、春闘による賃金上昇が進む一方、海外情勢の影響を受けた原材料・エネルギー価格の高騰や、為替変動等による物価上昇から、個人消費活動の停滞が懸念され、先行き不透明な状況となっております。

このような状況のもと、当社グループでは、「つながりを常によるこびに(Delight in Every Connection)」というミッションを掲げ、インターネット上で生まれるつながりによって生じる課題解決を目指した事業を行っております。デジタルエコノミー(注1)に特化したカスタマーサクセス(注2)ソリューション・プロバイダーとして、カスタマーサクセス総合支援やソーシャルアプリサポート及びインターネットモニタリングを提供する「グロース支援サービス」と、デジタルエコノミーに適應するうえでの課題を解決するサービスとして、スクールガーディアンやフロントサポート及びシステムプロダクトを提供する「アダプション(注3)支援サービス」を展開しております。

前連結会計年度においては、人材の積極的な採用等による先行投資や、一部子会社の不採算化、大型案件の一部解約、サービス開始時期の延期などにより収益に影響を受けておりましたが、当中間連結会計期間においては、業績回復に向けて、人材先行投資の回収、不採算の課題解消を順次推進しております。また、SaaSサービス提供者と提携したBPaaSの提供を開始いたしました。

この結果、当中間連結会計期間における当社グループの業績は、売上高1,785,818千円(前年同期比1.5%増)、営業損失61,189千円(前年同期は76,762千円の営業損失)、経常損失46,156千円(前年同期は76,941千円の経常損失)、親会社株主に帰属する中間純損失63,213千円(前年同期は67,083千円の親会社株主に帰属する中間純損失)となりました。

なお、当社グループはカスタマーリレーション事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

- (注) 1. 「デジタルエコノミー」とは、デジタルテクノロジーやデータを活用した経済活動のことであります。
2. 「カスタマーサクセス」とは、顧客(カスタマー)が成功できるよう顧客に寄添い、顧客の成功とはなにかを深め続ける取組みのことであります。
3. 「アダプション」とは、顧客が製品やサービスを導入したあとに本格的に活用し、定着させていく段階のことであります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当中間連結会計期間末における流動資産は1,099,462千円となり、前連結会計年度末に比べ80,958千円増加いたしました。これは主に現金及び預金78,208千円の増加によるものであります。固定資産は152,151千円となり、前連結会計年度末に比べ6,293千円減少いたしました。これは主に有形固定資産6,133千円の減少によるものであります。

この結果、総資産は1,251,613千円となり、前連結会計年度末に比べ74,665千円増加いたしました。

(負債)

当中間連結会計期間末における流動負債は654,190千円となり、前連結会計年度末に比べ99,078千円増加いたしました。これは主に短期借入金50,000千円、流動負債その他に含まれる契約負債27,999千円の増加によるものであります。固定負債は204,370千円となり、前連結会計年度末に比べ22,248千円増加いたしました。これは主に長期借入金21,614千円の増加によるものであります。

この結果、負債合計は858,560千円となり、前連結会計年度末に比べ121,327千円増加いたしました。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産合計は393,053千円となり、前連結会計年度末に比べ46,662千円減少いたしました。これは主に自己株式の処分13,999千円、親会社株主に帰属する中間純損失の計上63,213千円によるものであります。

この結果、自己資本比率は31.0%(前連結会計年度末は37.1%)となりました。

(3) キャッシュ・フローに関する説明

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は635,424千円となり、前連結会計年度末に比べ78,208千円増加いたしました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は2,250千円(前中間連結会計期間は91,802千円の使用)となりました。これは主に税金等調整前中間純損失46,156千円、売上債権の減少額22,527千円、契約負債の増加額27,999千円によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は5,627千円(前中間連結会計期間は6,366千円の使用)となりました。これは主に無形固定資産の取得による支出3,996千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は81,030千円(前年同期比342.4%増)となりました。これは主に短期借入金の純増額50,000千円、長期借入れによる収入80,000千円、長期借入金の返済による支出48,970千円によるものであります。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年12月期の連結業績予想については、2024年2月14日の「2023年12月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	557,215	635,424
受取手形、売掛金及び契約資産	398,517	376,446
貯蔵品	240	3,637
その他	62,530	84,019
貸倒引当金	—	△66
流動資産合計	1,018,504	1,099,462
固定資産		
有形固定資産	70,255	64,122
無形固定資産	0	3,796
投資その他の資産		
差入保証金	73,748	72,071
その他	14,440	12,162
投資その他の資産合計	88,189	84,233
固定資産合計	158,444	152,151
資産合計	1,176,948	1,251,613
負債の部		
流動負債		
買掛金	50,376	60,901
短期借入金	—	50,000
1年内返済予定の長期借入金	92,608	102,024
未払費用	241,083	240,952
未払法人税等	10,802	14,672
その他	160,242	185,640
流動負債合計	555,111	654,190
固定負債		
長期借入金	179,004	200,618
退職給付に係る負債	3,117	3,752
固定負債合計	182,121	204,370
負債合計	737,233	858,560
純資産の部		
株主資本		
資本金	54,227	54,227
資本剰余金	449,962	449,962
利益剰余金	28,262	△34,950
自己株式	△100,261	△86,262
株主資本合計	432,190	382,975
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	4,232	5,320
その他の包括利益累計額合計	4,232	5,320
新株予約権	3,293	4,756
純資産合計	439,715	393,053
負債純資産合計	1,176,948	1,251,613

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
 (中間連結損益計算書)
 (中間連結会計期間)

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
売上高	1,760,212	1,785,818
売上原価	1,249,741	1,290,843
売上総利益	510,470	494,974
販売費及び一般管理費	※ 587,233	※ 556,164
営業損失(△)	△76,762	△61,189
営業外収益		
受取利息	18	14
助成金収入	2,056	15,000
協賛金収入	—	486
その他	798	1,464
営業外収益合計	2,873	16,964
営業外費用		
支払利息	795	1,236
為替差損	1,848	672
その他	409	21
営業外費用合計	3,052	1,931
経常損失(△)	△76,941	△46,156
税金等調整前中間純損失(△)	△76,941	△46,156
法人税、住民税及び事業税	11,462	14,750
法人税等調整額	△20,229	2,305
法人税等合計	△8,767	17,056
中間純損失(△)	△68,174	△63,213
非支配株主に帰属する中間純損失(△)	△1,091	—
親会社株主に帰属する中間純損失(△)	△67,083	△63,213

(中間連結包括利益計算書)
(中間連結会計期間)

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
中間純損失(△)	△68,174	△63,213
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	4,169	1,088
その他の包括利益合計	4,169	1,088
中間包括利益	△64,004	△62,125
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	△62,913	△62,125
非支配株主に係る中間包括利益	△1,091	—

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純損失(△)	△76,941	△46,156
株式報酬費用	1,401	4,963
減価償却費	9,160	7,966
差入保証金償却額	1,645	1,645
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△275	66
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	525	409
受取利息	△18	△14
支払利息	795	1,236
為替差損益(△は益)	1,189	254
売上債権及び契約資産の増減額(△は増加)	60,184	22,527
棚卸資産の増減額(△は増加)	—	△3,637
仕入債務の増減額(△は減少)	5,921	10,057
未払消費税等の増減額(△は減少)	△23,574	7,251
未払金の増減額(△は減少)	△30,087	△7,520
未払費用の増減額(△は減少)	△33,983	△258
契約負債の増減額(△は減少)	31,836	27,999
その他	△9,484	△24,027
小計	△61,705	2,761
利息の受取額	18	13
利息の支払額	△1,017	△1,238
法人税等の支払額	△29,098	△10,884
法人税等の還付額	—	11,598
営業活動によるキャッシュ・フロー	△91,802	2,250
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△12,996	△1,631
無形固定資産の取得による支出	—	△3,996
差入保証金の回収による収入	6,630	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,366	△5,627
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	50,000
長期借入れによる収入	150,000	80,000
長期借入金の返済による支出	△32,144	△48,970
株式の発行による収入	360	—
自己株式の取得による支出	△99,902	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	18,314	81,030
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,888	555
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△77,966	78,208
現金及び現金同等物の期首残高	849,018	557,215
現金及び現金同等物の中間期末残高	※ 771,051	※ 635,424

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(中間連結損益計算書に関する注記)

※ 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
従業員給料及び手当	236,520千円	218,757千円
貸倒引当金繰入額	△275	66
退職給付費用	△109	409

(中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

※ 現金及び現金同等物の中間期末残高と中間連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は次のとおりであります。

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
現金及び預金勘定	771,051千円	635,424千円
現金及び現金同等物	771,051	635,424

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)

当社グループは、カスタマーリレーション事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当中間連結会計期間(自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)

当社グループは、カスタマーリレーション事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2024年4月15日開催の取締役会決議に基づき、株式報酬として自己株式16,128株の処分を行いました。この結果、当中間連結会計期間において自己株式が13,999千円減少し、当中間連結会計期間末において自己株式が86,262千円となっております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象の注記)

(多額な資金の借入)

当社は、事業の成長に伴う運転資金を確保し、財務基盤の強化を図ることを目的に、2024年7月1日付で以下のとおり借入を実行いたしました。

(1) 借入先	株式会社横浜銀行
(2) 借入金額	150,000千円
(3) 借入実施日	2024年7月1日
(4) 返済期日	2025年6月30日
(5) 金利	基準金利+0.80%
(6) 返済方法	1か月ごとの元金均等返済
(7) 担保等の有無	担保：無、保証：無